



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栢森 秀行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	12,913	13.9	1,493	13.5	1,536	13.2	957	20.8
26年3月期第1四半期	11,340	△16.0	1,315	△35.3	1,357	△36.0	792	△36.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 974百万円(23.0%) 26年3月期第1四半期 792百万円(△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	64.77	—
26年3月期第1四半期	53.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	53,376	32,399	60.7
26年3月期	53,929	32,260	59.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 32,399百万円 26年3月期 32,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	60.00	80.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	4.3	1,500	△39.7	1,500	△41.4	1,000	△35.2	67.64
通期	55,000	△3.4	3,000	△43.8	3,000	△45.2	2,000	△39.0	135.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	14,783,900株	26年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	628株	26年3月期	578株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	14,783,295株	26年3月期1Q	14,783,412株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により弱い動きもみられましたが、円安の継続を背景に、緩やかに回復していくことが期待されております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、消費税増税による稼働への大きな影響はありませんでしたが、今後の消費税率10%以降を睨んでの慎重な検討がなされております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、全国主要都市において展示会「MIRAI GATE 2014」を開催し、情報公開機器の新製品「BIGMO Type IV」、「IL-X2」及び「DESTIA」を発表し、販売を開始しました。また、展示会内のセミナーでは消費税増税の対応をテーマとした「この難局を打開せよ！～業績向上の礎を構築する手法とは～」を開催し、多くのホール関係者に会場いただきました。

制御システム事業におきましては、「遊技機の稼働貢献」による顧客からの信頼獲得を目指し、組織全体の体制・運用の見直しを図りました。また、当社製品全般の品質保証体制構築に向けて、品質向上プロジェクトを発足させました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高129億13百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益14億93百万円（同13.5%増）、経常利益15億36百万円（同13.2%増）、四半期純利益9億57百万円（同20.8%増）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、新規にオープンした大型店舗へCRユニット「VEGASIA」と情報公開機器「BIGMO PREMIUM」が多数導入されました。また、既存店においても遊技機のゲーム性の多様化を背景に、ファンにわかり易くゲーム性を伝える情報公開機器「BIGMO PREMIUM」への入れ替えが進みました。

この結果、当事業の売上高は98億13百万円（前年同期比37.0%増）、セグメント利益は17億64百万円（同27.2%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第1四半期連結累計期間は、新規取引獲得を目指した提案活動を積極的に行い、新規開発物件及び製品の受注活動を推進しました。また、新規ユニットや周辺基板等の製品開発に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は31億円（前年同期比25.8%減）、セグメント利益は1億45百万円（同63.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、当第2四半期以降に販売を予定している在庫の増加がありましたが、未払金の決済や納税及び配当金等の支払による現預金の減少、また減価償却費の計上による固定資産の減少があったことにより、前連結会計年度末に比べ5億53百万円減少の533億76百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、在庫の増加に伴い仕入債務の増加がありましたが、前連結会計年度末に比べ開発費に関する未払金の減少及び長期借入金の返済により、前連結会計年度末に比べ6億92百万円減少の209億76百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、営業成績が好調に推移したことによる利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加の323億99百万円となり、自己資本比率は60.7%（前連結会計年度末比0.9ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月12日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成26年6月27日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に基づき決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が78,419千円減少し、利益剰余金が50,737千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,381,553	13,881,551
受取手形及び売掛金	11,427,291	10,391,716
商品及び製品	7,204,529	7,473,559
仕掛品	41,207	56,995
原材料及び貯蔵品	1,538,748	3,494,917
繰延税金資産	7,117	1,737
その他	1,514,070	1,466,215
貸倒引当金	△69,309	△63,304
流動資産合計	37,045,208	36,703,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,067,439	4,000,942
土地	4,141,598	4,141,598
その他(純額)	1,268,400	1,233,019
有形固定資産合計	9,477,438	9,375,560
無形固定資産		
ソフトウェア	1,738,055	1,591,928
その他	34,283	34,463
無形固定資産合計	1,772,338	1,626,391
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,444,049	2,436,232
投資不動産(純額)	971,097	969,938
長期預金	500,000	500,000
その他	1,924,918	1,949,789
貸倒引当金	△205,321	△185,076
投資その他の資産合計	5,634,744	5,670,884
固定資産合計	16,884,520	16,672,836
資産合計	53,929,729	53,376,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,881,786	15,815,503
1年内返済予定の長期借入金	399,866	399,866
未払法人税等	626,822	656,116
繰延税金負債	230,734	196,428
役員賞与引当金	158,504	26,040
その他	3,861,754	2,602,334
流動負債合計	20,159,470	19,696,289
固定負債		
長期借入金	400,266	300,300
役員退職慰労引当金	400,326	377,943
退職給付に係る負債	461,363	356,287
その他	247,628	246,130
固定負債合計	1,509,585	1,280,661
負債合計	21,669,055	20,976,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	31,027,990	31,149,188
自己株式	△1,155	△1,237
株主資本合計	32,380,843	32,501,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,668	18,003
繰延ヘッジ損益	—	△142
退職給付に係る調整累計額	△138,837	△120,546
その他の包括利益累計額合計	△120,169	△102,684
純資産合計	32,260,673	32,399,274
負債純資産合計	53,929,729	53,376,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	11,340,028	12,913,891
売上原価	7,598,059	8,894,299
売上総利益	3,741,968	4,019,591
延払販売未実現利益戻入	6,308	5,845
差引売上総利益	3,748,277	4,025,437
販売費及び一般管理費	2,432,368	2,531,454
営業利益	1,315,908	1,493,983
営業外収益		
受取利息	1,311	2,183
受取配当金	5,984	6,079
不動産賃貸料	18,045	17,584
貸倒引当金戻入額	6,264	14,313
その他	21,120	20,837
営業外収益合計	52,726	60,999
営業外費用		
支払利息	1,776	1,901
不動産賃貸費用	9,056	15,629
その他	478	1,250
営業外費用合計	11,312	18,781
経常利益	1,357,322	1,536,200
特別損失		
固定資産除却損	202	1,210
特別損失合計	202	1,210
税金等調整前四半期純利益	1,357,119	1,534,990
法人税、住民税及び事業税	118,706	635,861
法人税等調整額	446,074	△58,331
法人税等合計	564,781	577,530
少数株主損益調整前四半期純利益	792,338	957,460
四半期純利益	792,338	957,460

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	792,338	957,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	321	△664
繰延ヘッジ損益	—	△142
退職給付に係る調整額	—	18,291
その他の包括利益合計	321	17,484
四半期包括利益	792,660	974,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792,660	974,945

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,161,693	4,178,335	11,340,028	—	11,340,028
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,161,693	4,178,335	11,340,028	—	11,340,028
セグメント利益	1,387,944	400,884	1,788,829	△472,920	1,315,908

(注) 1 セグメント利益の調整額△472,920千円には、セグメント間取引消去693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△473,614千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,813,560	3,100,331	12,913,891	—	12,913,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,813,560	3,100,331	12,913,891	—	12,913,891
セグメント利益	1,764,857	145,677	1,910,535	△416,551	1,493,983

(注) 1 セグメント利益の調整額△416,551千円には、セグメント間取引消去103千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416,655千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。